

東日本大震災ウィーク in 奈良女子大学文学部

平成 23 年 6 月 6 日（月）－10 日（金）

「授業の中で〈震災〉を考える」

この度の震災により尊い命を失われた方々とそのご家族の皆様に心からのお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々に深甚なるお見舞いを申し上げます。

この度の震災にあたって、教育・研究機関としての大学に何ができるのだろうか、とりわけ文学部という社会・文化・言語・人間に関わる教育・研究を行う場所において何ができるのかと自問したとき、この震災について授業の中で学生たちと共に思考すること——それが私たちに可能な対処の方法ではないかと考えました。

4 月の新学期開始から、すでに幾人かの教員は授業においてさまざまな形で〈震災〉をテーマとして取り上げ、学生たちに考える場を与える工夫を始めています。そうした個別の試みを、他の教員にも呼びかけて、文学部として 1 週間の授業に集約します。

期間は 6 月 6 日（月）から 10 日（金）の 1 週間とし、この週に実施される授業において、それぞれの枠内で、それぞれのやり方によって〈震災〉をテーマに取り上げます。もちろん授業は、進度、内容、形態、方法が多様ですから、あくまでも対応可能な授業に限られますが、できるだけ多くの教員と学生が参加して、現代的な課題に力を結集してアプローチすることにより、教育・研究を活性化することを目指します。

テーマとしては、次のようなものを考えています。

「震災と社会」「震災と歴史」「震災と地理」「震災と健康」「震災後の環境問題」「こころと震災」「文学と震災」「震災の思想」

なお、「震災ウィーク」に実施される授業内容の詳細については、5 月 30 日（月）に発表予定です。「震災ウィーク」に参加する授業は原則として学内者に対して公開とします。また、担当者の許可がある場合には学外者にも公開し、学外からの聴講者には教室において氏名等の記入をお願いする予定です。

奈良女子大学文学部

本件に係る連絡先

学務課文学部係

Tel : 0742-20-3699

Fax : 0742-20-3234

E メール : bun@jimu.nara-wu.ac.jp